

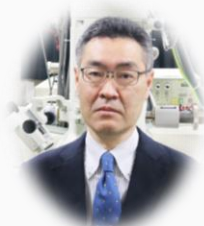


## 令和5年度 スコップ運営体制

### 令和5年度 機構長・副機構長

スマートコアファシリティ推進機構の令和5年度の運営体制が決まりました。

新機構長：箕田 弘喜 教授  
(工学研究院 先端物理部門)



箕田機構長

副機構長：笠原 博幸 教授  
(農学研究院 生物制御科学部門)



笠原副機構長

令和5年4月より上記機構長・副機構長の下、スコップ3年目がスタートしました。

#### 【箕田機構長 挨拶】

今まで、組織ごとキャンパス毎に配置していた先端的大型機器類を集約して全学的な維持管理体制を整えました。皆様に、より高いレベルでの研究サポートが可能な体制を整えて、先進的な研究成果を世界に発信するための基盤を支える持続可能な自立組織となることを目指しています。機構内の装置に関する相談や質問があれば、お気軽に担当者までご連絡ください。

### 令和5年度 新たなメンバー

令和5年4月1日付で、富本晃吉氏が産学連携研究員としてスコップのメンバーに加わりました。  
担当部門：分光分析部門

電子顕微鏡部門

#### 【富本晃吉(とみもと こうきち)さん 自己紹介】

この4月から産学官連携研究員として分光分析、及び電子顕微鏡部門担当しております。前職までは大学共通施設等に於ける走査電子顕微鏡や電子線マイクロアナライザーと云った大型分析機器の技術支援を主に行っておりましたが、スコップには共用研究設備として最新鋭の顕微レーザーラマン分光装置が導入されておりますので、ぜひ学内外皆様の教育・研究にこの装置をご活用頂けます様、微力ではありますが鋭意努力してまいります。

### メーカーによる顕微ラマン分光装置のサポート開始

令和5年4月より府中地区遺伝子実験施設2Fに設置しています顕微ラマン分光装置に対し、メーカー((株)堀場製作所)の技術者による測定・解析等のサポートを開始しました。(日程等はお問い合わせください)

月2回程度の堀場製作所の専門技術者によるサポートを予定しています。

測定方法・データ解析のサポートを受けたい方、また今後顕微ラマン分光装置で測定を検討している研究室でラマン分光法の測定方法や測定試料など相談を受けたい方は下記スコップ窓口(scoop-groups[at]go.tuat.ac.jp [at])までご連絡お願い致します。

スコップへご要望等御座いましたら窓口担当scoop-groups@go.tuat.ac.jpまでお問合せ下さい。